

科目番号	51008	分類		履修者	高度実践看護コース	学年	1
科目名	治療のためのNP特論 (Treatments for critically ill patients)						1
							配当セクター
							後期
担当者	草間朋子 他12名			区分	必修	単位	2
						時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連	
【概要】 治療についての考え方をふまえて、クリティカル領域における治療法の科学的根拠をふまえた適応や治療法の特徴を理解する。治療継続にかかわる生体へのメリット・デメリットを理解し、治療計画の変更や終了などの判断ができるための知識を修得する。 【目標】 1. クリティカル領域特有の治療に対する理解を深める。 2. クリティカル領域において遭遇する事例について治療の選択ができる。						○	1. 患者・患者家族のニーズに自律的に対応できる実践能力
						○	2. 患者の擁護者として活動できる倫理的意思決定能力
						○	3. 看護・看護学の発展・進化に寄与し社会・時代のニーズに対応した創造的な研究・開発能力
						○	4. 多職種と連携・協働して行われるチーム医療の中で看護職としてのリーダーシップを発揮できる能力
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
第1回	I. 周術期の管理 (7回)						草間 他12名
第2回	1. 術前リスク評価とその予防的介入 ・小児の臨床診断・治療の特性と演習 ・高齢者の臨床診断・治療の特性と演習						
第3・4回	2. 周術期に関する輸血 ・小児の臨床診断・治療の特性と演習 ・高齢者の臨床診断・治療の特性と演習						
第5・6回	3. 周術期の管理 (創部ドレーン管理も含む) : 消化器の手術 ・小児の臨床診断・治療の特性と演習 ・高齢者の臨床診断・治療の特性と演習 ・救急医療の臨床診断・治療の特性と演習						
第7・8回	4. 周術期の管理 (胸腔ドレーン管理も含む) : 呼吸器の手術 ・5大疾病の病態と臨床診断・治療の概論 悪性腫瘍 (肺がん) の外科治療						
第9・10回	5. 周術期の管理 (創部ドレーン管理も含む) : 脳の手術 ・5大疾病の病態と臨床診断・治療の概論 悪性腫瘍 (脳腫瘍) の外科治療						
第11回	6. 周術期の管理 (心嚢・縦隔ドレーン管理も含む) : 心・大血管手術 ・5大疾病の病態と臨床診断・治療の概論 急性心筋梗塞の外科治療						
第12回	7. 深部静脈血栓・肺塞栓予防 ・小児の臨床診断・治療の特性と演習 ・高齢者の臨床診断・治療の特性と演習 ・在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習						
第13回	8. 術後の感染予防 ・5大疾病の病態と臨床診断・治療の概論 長期臥床、外科手術に伴う 小児、高齢者へのリスク管理						
第14回	糖尿病患者の術後管理 II. 血液に関する問題 1. 輸血療法 ・5大疾病の病態と臨床診断・治療の概論 5大疾病の外科治療に伴う輸血						
第15回	III. 虐待に関連する問題と対応 ・救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 ・在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習						
事前・事後学習	事前学習：当日の課題に関し参考図書の内容を予習し理解して授業に参加する。 事後学習：授業の内容を配布資料と参考図書等で復習する。 単位と時間数に応じた学習時間 (学生便覧参照) を参考に取り組むこと。						
評価の方法	筆記試験で評価する。フィードバックは適宜行う。						
参考図書・資料等	適宜紹介する。						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						